

令和6年7月19日

千葉市長 神谷 俊一 様

千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会
会長 鈴木 雅之

指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（答申）

令和6年5月16日付け6千経経第39号で、千葉市長から諮問のありました標記の件について、別紙の農政部会からの報告のとおり答申します。



令和6年7月19日

千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会

会長 鈴木雅之 様

千葉市経済農政局指定管理者選定評価委員会
農政部会

部会長



指定管理者の行った公の施設の管理に係る評価について（報告）

令和6年5月16日付け6千経経第39号で、千葉市長から諮問のありました標記の件について、本部会において審議した結果、下記のとおり議決したので報告します。

記

1 公の施設の指定管理者の評価について

(1) 中田やつ耕園（千葉市中田都市農業交流センター）（議決日 令和6年7月19日）

ア 年度評価

- ・施設運營業務・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・利用者へのアンケート結果では従業員の対応が高く評価されている一方、前年度と比較して市民農園の契約区画数が大きく減少していることから、コロナ禍で活性化したニーズを再び引き寄せられるよう、当園の有益性に関するPR活動を充実していただきたい。
- ・自主事業については、市民を対象とした収穫体験が好評を維持しており、農業体験を通して都市部と農村部の交流に寄与していると評価できる。こうした収穫体験の参加者を市民農園の利用者増につなげるような取組みの強化を期待する。
- ・このほか、水はけが悪い区画については、昨年度に実施した不良区画の改善状況を見極めた上で、必要な対策を順次実施していただきたい。

イ 総合評価

- ・施設運營業務・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・数値目標については、利用者数は目標を達成していないものの安定した利用者数を維持していること、また、市民農園の契約区画数は目標を達成していることから、都市部と農村部の交流や農業振興による地域の活性化に寄与する施設としての役割を果たしていると評価できる。
- ・一方で、令和5年度の契約区画数は、コロナ禍において密にならないレクリエーションとしてのニーズが高まった令和3～4年度以前の水準に回帰しているものの、潜在的なニーズを確認することができたことから、当園の有益性を活かした契約区画数及び利用者数の増加に向けた活動をより一層充実させていく必要がある。

(2) 富田さとにわ耕園(千葉市富田都市農業交流センター)(議決日 令和6年7月19日)

ア 年度評価

- ・施設運営業務・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・特に、植栽維持管理業務については、年間を通じて花を楽しめ、快適に回遊できる場となるよう、季節の花々の管理や環境整備を適切かつ継続的に行ってきたことが目標を大きく上回る来場者数に繋がっているものと高く評価する。
- ・研修室の稼働率は、昨年度と比較して減少しており、目標達成に至っていないことから、引き続き、関連する団体や利用実績のある団体等への利用機会増に向けた呼びかけのほか、各種利用に繋がるよう、あらゆる機会を捉えて積極的にPR活動を行っていただきたい。

(3) 下田農業ふれあい館(千葉市下田都市農業交流センター)(議決日 令和6年7月19日)

ア 年度評価

- ・施設運営業務・施設維持管理業務については、概ね事業計画どおり実施されていると判断できる。
- ・自主事業については、2年連続で収支が赤字であることに加え、赤字幅が拡大している。自主事業は指定管理者の責任で実施する事業であるが、自主事業の赤字によって安定的な管理運営が揺らぐことのないよう、収支改善に向け、早急に要因分析及び事業の見直しを実施すること。
- ・直売所については、SNSによる情報発信や野菜定期便などの新たな取組みによる営業努力は評価するものの、利用者・売上の減少が続いていることから、店頭の品揃えの充実等による魅力ある直売所づくりに努めることはもとより、店外販売先の更なる新規開拓や店外イベントへの積極的な参加、地域を巻き込んで季節のイベントを開催するなど、様々な手段で利用者・売上の増加を図られたい。
- ・レストランについては、弁当・総菜の販売継続やバイキングの限定再開等により増収となっているものの、事業の高コスト体質が見て取れるため、赤字の原因を分析・把握し、その原因を取り除くことにより、収支の改善に向け取り組まれたい。